

カルナフリ上水道整備計画（フェーズ2）【バングラデシュ】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和5年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	バングラデシュ人民共和国
(2) 案件名	カルナフリ上水道整備計画（フェーズ2）
(3) 目的・事業内容 *閣議決定日、供与条件などを 含む	<p>チッタゴン市において、上水道施設の整備を行うことにより、安全かつ安定的な上水道サービスの提供を図り、もって同市住民の生活環境の改善に寄与するものである。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取水施設・浄水場・送水管建設 ・配水網改善 ・コンサルティング・サービス <p>ア 閣議決定日：平成25年3月8日 イ 供与限度額：348.47億円 ウ 金利：0.01% エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、バングラデシュでは国民の安全な水へのアクセスは81%（2010年時点）にとどまっていた。都市・地方をあわせ飲料水の9割を地下水に依存していたが、地下水の砒素汚染や、都市部での地下水位の低下が見られ、表流水を利用した都市部の上水道整備の推進が喫緊の課題となっていた。また、都市部の無収水率は約30%に達しており、給水能力の増強と老朽化が著しい配水網の改善が急務となっていた。</p> <p>本計画完成後のチッタゴン市における浄水給水量は56万m³/日となり、一時的に水需要とほぼ釣り合うことが見込まれる。また、2022年から2035年までにチッタゴン市の人口は約31%増加し、継続的に水需要も増加することが予測されるため、引き続き給水能力の増強と配水網の改善が必要であることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>主に配水網改善コンポーネントの工事について、雨季における工事進捗の鈍化や道路掘削許認可取得の遅延等により当初のスケジュールより遅れたが、現在、事業は順調に進められている。2022年1月に浄水場は完工し、運転を開始済み。現在は借款対象に含まれている末端の配水網の改善作業を実施しており、2023年6月に完成予定である。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれる。また、上述のとおり本事業は2023年6月に完成予定であることから、引き続き支援を継続する。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・政策評価法に基づく事前評価書

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 国際協力機構の案件検索・ 国際協力機構の事業事前評価表・ その他国際協力機構から提出された資料 |
|--|---|